＜能登半島地震に関わる入浴支援活動　報告書＞

一般社団法人 危機管理教育研究所
理事長　国崎　信江

■事業名
令和６年能登半島地震に関わる支援活動
■実施場所
志賀町、七尾市、輪島市の福祉施設
■活動期間
１月１日～4 月 30 日
■実績報告
　能登半島地震で震度 7 を観測した志賀町では、多くの家屋が被害を受け、要配慮者を支える福祉施設も大きな被害を受けました。能登半島の被災エリアは断水が続いているところが多く、全面復旧にはかなりの期間かかり、長期に渡る断水が懸念されていました。
　そのような状況の中、特に被害の大きい富来地区の高齢者福祉施設 3 か所で、当時発災から 2 週間経ってもお風呂に入れていない現状を知り、訪問入浴サービスを提供することを決めました。
　入浴は床ずれ防止や改善につながるだけでなく、脳代謝の活性化を促し痴呆防止・軽減、筋肉の緊張緩和によるリハビリ効果、むくみ軽減、睡眠の促進など様々な効果があり、要配慮者の方々にとっては命を繋ぐために欠かせません。
　私たちは、災害関連死防止の最前線にいるという気持ちを持ち、給水車の手配や活動場所確保のために行政と連携し、施設職員、訪問入浴サービスの事業者さんが一丸となって入浴サービスの提供をおこないました。
　当初は志賀町の福祉施設で行ってきた訪問入浴サービスですが、断水が解消した施設でも上下水道の配管などの復旧の見通しが立たず、水回りが使えない状況が続いており、七尾市、輪島市からも SOS の声が上がり、支援をさせていただいている施設で訪問入浴を必要とする入所者数は７施設２２０人以上にものぼりました。この方達にせめて隔週でも入浴していただけるよう、ご協力いただいている訪問入浴車の業者も、当初からご一緒している「笑顔の会」様だけでなく 「アサヒサンクリーン」様、平塚から「ティーシーエス」様、福岡から「とうしん」様と４社に拡大し、ボランティアも合わせて入浴支援を実施していただきました。
　お蔭様でトータル３か月間の活動で延べ７６７人の方に入浴していただくことができました。
　入所者の方は、お風呂に入ると皆さまほっとした表情になり、「気持ちいいね」「いい湯やわね」「ありがとう」など嬉しいお気持ちをたくさん聞くことができました。
　また、施設の方からは、施設の運営に不安をかかえている状況の中での支援でしたので、行く度に感謝のお言葉をたくさんいただきました。
　経験したことのない大きな地震により、施設も入所者の方も不安な状況が続く中、お風呂にも入れないことがどんなに辛いことか、、。
今回の能登半島地震では、福祉施設の支援をすることが最大の災害関連死への防止につながっていると思いました。

この入浴支援の活動にご支援いただいた日本財団様には感謝の気持ちでいっぱいです。
心より感謝申し上げます。

■活動の様子

＜給水＞

＜入浴支援＞

＜特別養護老人ホーム ゆきわりそうにて＞

＜笑顔の会様＞